

蛇の如く運気を上げよ！

新年あけましておめでとうございます。今年は昨年と違い、穏やかに過ごすことができた年末年始でしたが、保護者の皆様方におかれましては、どのような新年を迎えられたでしょうか。きっと、ご家族やご親類の方々と温かな時間を過ごされたことと思います。

去年は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。教職員一同、決意を新たに、子どもたちの健やかな成長を支えるために尽力してまいりますので、今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

新年にあたり、本日の始業式で、子どもたちへの成長の願いを込めて次のような話をしました。



今年の干支は、乙巳(きのと・み)です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いをもつ年とされています。

「乙(きのと)」は十干の2番目で、「軋(きしむ)」を意味しています。木のエネルギーを表し、植物が成長し広がっていくような意味です。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。

「巳(み)」は十二支の6番目で、蛇を表します。蛇には一般的にネガティブなイメージがあり、皆さんの中にも苦手な人がいると思いますが、古来より豊穰や金運を司る神様として祀(まつ)られることもあり、神聖な生き物として認識されてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。また、運気を上げる縁起物としては定番となっており、蛇が登場する夢を見ると吉兆とされていたり、蛇皮の財布や蛇の抜け殻を財布に入れて持ち歩くと金運が上がるともいわれたりしています。さらに巳年生まれの方は蛇のように辛抱強く、粘り強い性格をもつとされており、知恵や洞察力に優れているとも言われています。

「乙巳(きのと・み)」の組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。年内に、早い人は具体的な成果が現れ始め、中には大きな結果を手にする人もいるでしょう。しかし、すべての人が同じペースで結果を得られるわけではありません。成長の速度は人それぞれであり、中には時間がかかる人もいます。そのため、今年は辛抱強さが試される年にもなります。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要です。自分のペースを保ちながら着実に前進することで、最終的には望む結果に近づくことができます。

本日から、3学期が始まります。3年生は今週末から早速、私立高校の入試に臨みます。その後、国立高専・公立高校の入試と続き、卒業式を迎えることとなります。1・2年生は、1年間の学習の取組状況を確認する「学習の診断」から学年末テストへと続き、修了式を迎えることとなります。それぞれが皆さんを成長させる節目になっていくものです。その節目ごとの取組をこれまで以上に大切にしながら、今年の干支にちなみ、「これまでと同様に努力や準備を怠らずに」確かな歩みを進め、それを「最大限」の成長へとつなげてほしいと願っています。先ほども言いましたが、人それぞれにペースがありますから、他人と比べて落ち込むことがないように、自分のペースをしっかりと守って成長し続けてください。

3学期は締めくくりの時期であるとともに、4月から始まる新しい未来に向けての準備期間でもあります。いじめや差別を絶対に許さない共感的な人間関係を大事にしながら、共に過ごせる時間みんな心から笑い合い、切磋琢磨しながら一人ひとりの未来を広げていく、そんな安心感のある学校生活にしていくことを新年の誓いとして胸に刻み、今日からの日々を過ごしてください。